

学校評価一覧表②

(様式2)太田市立葦川小学校

羅針盤			自己評価(総合)	学校関係者評価	学校関係者評価委員の意見	今後に向けての学校の考え
評価対象	評価項目	具体的な数値目標				
I 保護者との連携	1. 学校は保護者への情報提供をきめ細かく行っていますか。	・「学校や子どもの様子がわかる」と答える保護者が80%以上である。	A	A		<ul style="list-style-type: none"> ・今後も学校だよりやwebページ、学級通信などを通して情報の公開を積極的に進めていく。 ・連絡帳を通した日々のきめ細かな連絡に努める。 ・地域役員(学校関係者)との定期的な情報交換会を継続していく。 ・懇談会が学校からの一方通行にならないように改善していく。
	2. 学校は保護者が学校を理解したり、協力したりしやすい環境をつくっていますか。	・学校行事、PTA活動、授業参観などに参加している保護者が70%以上である。	A	A		
	3. 保護者は、心配なことを学校に相談しようと思っていますか。	・「相談しようと思う」と答える保護者が80%以上である。	A			
II 確かな学力	4. 学校の授業は、わかる授業となっているか。	・「授業がわかる」と答える児童が80%以上である。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数学級などにより、子どもの学力や能力、一人一人に合った学習方法等、学力向上に向けての工夫や努力がされていて大変良いと思います。授業参観では、子どもの興味や関心をうまく引きつける授業も数多くあり、先生方の努力やご苦労が随所に感じられました。 ・良き指導のもとに良い環境での学習活動が行われていると思います。 ・ていねいに指導している様子が良くわかりました。 ・読書習慣が少しずつ増える良いと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業改善を更に進め、わかる授業の実践のために教材研究に努める。 ・校内で一人一授業公開を継続し、他の教員の指導から学び、授業の改善を図る。 ・各種学力検査の結果を分析し、今後の指導の改善点や指導の重点を明らかにする。 ・学年で統一した宿題の出し方や家庭学習の方法などを検討し、児童への指導を徹底する。 ・「学習習熟タイム」の意義や活用方法を保護者にも再度周知していく。
	5. すずんで学習する習慣が児童に身に付いていますか。	・家庭学習を(週平均して)1日あたり学年×10分以上行っている児童が80%以上である。	B			
	6. すずんで読書する習慣が児童に身に付いていますか。	・1週間のうち半分以上は、15分程度読書をしている児童が80%以上である。	C			
	7. 「学習習熟タイム」は学力向上に役立っていますか。	・「役立っている」と答える保護者が80%以上である。	A			
III 豊かな心	8. すずんであいさつをしたり、はっきり受け答えしたりする児童が育っていますか。	・すずんであいさつや返事ができる児童が90%以上である。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年4月～7月頃までは驚くほどよくあいさつができていましたが、今はこちらから声をかけるとあいさつをしますが、ほとんどなくなってしまった。登下校はまとまって歩いており感心します。服装の乱れや話し方も良いと思います。 ・前年度と比較して学童の朝の挨拶をするのが登校時少なくなった感じがします。前年度まで、登校時、校長が通学路と一緒に歩いていた時はもう少し元気だった感じがします。朝、校門で出迎いの挨拶を併せて大切かと思えます。 ・子供達のあいさつはもちろんですが、学校周辺では先生もあいさつをして下さいます。とてもうれしく思います。 ・登下校時、挨拶がよくできています。下校時少人数になりますが、「さようなら」とか「こんにちわ」と高学年の児童の中には、会釈をしなから帰る子もいます。 ・台之郷幼稚園等での葦小の子供達は仲よく遊んでいる。又、飲物等の容器などはルール通り持ち帰っているので公園を管理している立場として助かっている。 ・いじめは何件ありましたか。男子何人、女子何人、対応はきちんとなされましたか。学年も教えてください。 ・いじめについては学校としての出来る限りの対応を行っているとは思いますが、相変わらず各所で頻発しています。より一層きめ細かい対応をお願い致します。 	
	9. すずんでお手伝いができる児童が育っていますか。	・すずんでお手伝いができる児童が90%以上である。	B			
	10. いじめのない温かな人間関係が育っていますか。	・相手の立場や気持ちを考えて、親切な言動がとれる児童が80%以上である。	A	A		
		・いじめの発生予防に努め、いじめの解消率が100%である。	A	A		
IV 健康・体力	11. 規則正しい生活をしている児童が育っていますか。	・「規則正しい生活をしている」と答える保護者が80%以上である。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・1/31(日)に地区活動でもちつき大会を行い、育成会も参加、児童・保護者共大勢参加。うすでのもちつき、大福手作と計画しましたが、体を使っは皆少なく、食べる方に回って保護者の方が喜んでいました。子供さんはカラゲー、スマホと2、3人でかたまっていて、体を動かして遊ぶ時間が本当に少ないな～と感じました。帰宅後、家族での話題に少しでも上がり、楽しい思い出になればと感じましたが。 	
	12. 日常的に運動に取り組めるよう、時間や場などの環境を整えていますか。	・週3日以上、からだを動かして遊んだり運動したりしている児童が80%以上である。	A	A		
V 安全確保・施設設備	13. 安全点検や避難訓練を計画的に実施したり、学校施設の安全管理を徹底していますか。	・防犯や避難、救護などを想定したジュミレーションを学期1回以上実施し、安全(危機)管理マニュアルの見直しを図っている。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・葦川小学校の教育活動とは余り関係ないのですが、私は今まで葦川はもとより太田市、県、全国と子ども(青少年)と30年以上関わってきましたが、特に加害者、被害者等について討論、総括して組織に生かしてきました。たとえば交通事故、自分だけ気をつけていても相手がいるもらい事故。万引き、最近は大人の老人たちのささやかな犯罪、以前は子どもたちに対して犯罪抑止とお店側に陳列方法と店内見廻りの強化。最後にいじめや虐待、昔(昭和20年代)もありましたが、今みたいな残虐な行動はなく、必ず周囲の目がいつも光って注視して防止した。 	
	14. 自転車の事故防止に努め、安全な乗り方をさせていますか。	・事故の発生の原因を理解し、正しい自転車の乗り方ができる児童が90%以上である。	A	A		
	15. 学校・家庭・地域が連携して交通安全指導やパトロールを行っていますか。	・「行っている」と答える保護者が90%以上である。	A	A		
VI 進路・生き方	16. 児童の将来について親子で話していますか。	・将来の夢や希望について、親子で話している家庭が80%以上である。	B	A	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の夢や希望の実態を学級だよりなどで家庭に紹介し、家庭で話し合う機会をつくる。 ・道徳や生活科、総合的な学習の時間などを通して自分を振り返りながら将来を見つめる機会を設定する。 	
VII 循環型社会をめざした環境教育	17. ISO14001(環境マネジメントプログラム)について推進していますか。	・省エネ活動や資源の有効活用などの環境教育を推進し、エコ活動を行っている家庭が70%以上である。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ISO委員会の児童に資源回収の成果を児童に報告させたり、電力や水の節約などの成果を報告させたりするとともに、学校だより等に掲載して家庭にも啓発を図っていく。 	
VIII 組織運営	18. 学校経営の改善・充実に向けて「学校力」の強化に努めていますか。	・学校の教育目標の達成に向け、管理職・教職員が一体となって努力している。	A		<ul style="list-style-type: none"> ・直接児童を持たない立場に在り、よく判らない事も有ります。諸先生の御尽力に期待致します。 ・職員の皆さんが様々な面で一丸となって取り組んでいる様子がうかがえます。子供達のために頑張っていたいただきたいと思います。 ・大変熱心に学校側が取り組まれている事は十分承知しておりますが、区としても育成会等を通じ、又別の角度からご協力出来ればと考えております。 ・子どもたちにとこれからは愛情を持って指導を続けてください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の問題意識や悩み等について、気軽に相談しあえる人間関係づくりに努め、職員の共通理解を一層図れるようにしていく。 ・諸会議の効率化に努め、子どもと向き合う時間を一層確保できるようにする。 ・PDCAサイクルを有効活用し、教育活動を都度見直ししていく。 ・規律確保行動計画を踏まえ、今後も服務規律違反を絶対に出さないようにする。
		・日々の教育活動における問題意識や悩みについて、気軽に相談しあえる職場の人間関係を作るようにしている。	A			
		・教職員は設定した自己目標の達成に向け、主体的に日常の教育実践に取り組んでいる。	A			
		・職員会議が校長の経営方針を踏まえた情報交換や課題検討の場として機能している。	A			
		・PDCAサイクルを確立して学校評価を行い、改善策を具体化している。	A			
		・適材適所を配慮して校務分掌が組織され、機能している。	A			
		・校内服務規律委員会を定期的に開催し、常に教職員の服務規律確保に努めている。	A			
	19. 学校や児童の実態に即した年間計画を作成していますか。	・各教科部会等での話し合いを踏まえて年間指導計画を作成し、理解をして取り組んでいる。	A			
	20. 校内研修の充実にも努めていますか。	・校内研修は、教師の資質向上と授業改善に結びついている。	A			
		・校内研修組織を整備し、見直しをもって効果的に研修を実施している。	A			
21. 文書や個人情報の適切な管理ができていますか。	・各種文書・データ等は、分掌や担当毎に適切に管理されている。	A				
	・個人情報や機密に保護されるよう、管理が徹底されている。	A				
22. 地域の教育力を効果的に活用していますか。	・保護者や地域の方々の協力を得ながら教育活動を進めている。	A				